

第2回目アンケート実施要項（案）

1 目的

学校施設と地域に関する意見を集め、基本方針として重視すべき事項、留意が必要な事項を把握し、基本方針検討の基礎資料として活用する。

また、今後の学校施設のあり方や地域における学校のあり方の基礎資料としても活用する。

2 概要

【実施期間】 令和5年10月～11月（予定）

【アンケート対象と配布・回収手法について】

対象	配布部数 (案)	選定基準・実施手法等	
		対象者	実施方法
市民（満18歳以上の方）	約1,500	満18歳以上の各務原市民を無作為に抽出	【実施】 郵送 【回収】 郵送 及び WEB
児童保護者	約2,500	R5年度小学5年生中学2年生の児童生徒の保護者	【実施】 学校→保護者 【回収】 郵送 及び WEB
合計	約4,000		

アンケート内容(案)

設問構成	設問内容	目的
1. 基本属性	Q1-1. 性別 Q1-2. 年齢 (10歳代、20歳代、・・・) Q1-3. 家族構成 (小・中の子供の有無) Q1-4. 居住地区 (居住学区)	属性別の意見把握
2. 地域に開かれた学校づくりについて	<p><現在の地域拠点としての学校施設> 各務原市は、学校施設の活用として地域開放を行っています。 （一部の学校を除く）</p> <p>Q2-1. 開放されていることをご存じですか。また、利用したことはありますか。</p> <p>① 利用したことがある ② 知っているが、利用したことがない ③ 知らない</p> <p>Q2-2. “①利用したことがある”と回答された方は、その目的を教えてください。</p> <p>【利用目的】</p> <p>① スポーツ ② 文化・芸術 ③ PTA・子ども会 ④ 町内会 ⑤ 地域防災活動（防災訓練など） ⑥ その他（ ）</p> <p>【団体名】 活動の団体名を教えてください （ ）</p>	現在の利用内容、利用状況の把握

設問構成	設問内容	目的
	<p>Q2-3”②知っているが、利用したことがない”と回答された方は、その理由を教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 予約の仕方がわからない ② 空き状況の確認が容易でない ③ 鍵の管理が容易でない ④ 駐車場がない ⑤ 利用したい時間帯に利用できない ⑥ 利用する目的がない ⑦ その他（) 	<p>新たな学校施設に必要な機能の把握</p>
	<p><これからの新たな学校施設の地域開放> 学校施設の整備においては、児童・生徒が外の社会とつながりやすく地域に開くことのできる空間づくりを目指しています。</p> <p>Q3 地域の人との交流や協働活動の中で重要と思うものを選択してください。（上位3つ選択）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 登下校の補助（見守り隊等） ② 部活動の指導 ③ ビオトープ等の管理・補助 ④ 授業補助（家庭科の授業補助や理科実験，書道の先生等） ⑤ 授業時間外の学習支援 ⑥ 郷土学習（地域の歴史，伝統文化など） ⑦ 地域行事運営への参加（防災活動，伝統行事，イベント等） ⑧ 地域学習とまちづくりへの参加（地域の課題を学び、活性化を図る活動） ⑩ 地域主催のスポーツ活動 ⑪ 自然体験活動 ⑫ 企業と連携したプログラム（職場体験プログラム）等 ⑬ その他（) <p>Q4 学校施設と地域がつながりを深めるために重要と思うものを選択してください。（上位3つ選択）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 保護者、PTA、地域住民、学校ボランティア等の人たちが気軽に立ち寄れるスペースが設置されていること ② 学校図書館や特別教室が地域住民に開放されていること ③ 幼児を含めて異年齢の子どもたちが自由に交流できる場があること ④ 高校生や大学生、社会人等も利用できる学習スペースがあること ⑤ 敷地内外の様子が相互に見えること ⑥ 地域のシンボルとして地域の個性を生かした施設になっていること 	<p>社会に開かれた教育課程のあり方で重視する点を把握</p>

設問構成	設問内容	目的
	<p>Q5-1 現在の近隣の小中学校は、児童生徒にとって安全安心な場所であると思いますか。</p> <p>① そう思う ② どちらかというそう思う ③ どちらかというと思わない ④ そう思わない ⑤ わからない</p> <p>③、④を選択した方は、その理由を教えてください。 (例：危険な場所がある、子どもが危険な思いをした) ()</p> <p>Q5-2 安全・安心な学校施設にとって重要だと思うものを選択してください。(上位3つ選択)</p> <p>① 正門や通用門を見通せる職員室や事務室の配置 ② 学校敷地内が外から見えるつくり ③ 死角となる場所がない学校施設の配置 ④ 来訪者用の受付の設置 ⑤ 門や学校の境界のフェンス・塀の設置 ⑥ 防犯カメラ等の防犯監視設備 ⑦ 緊急時の校内及び校外への通報設備</p>	

設問構成	設問内容	目的
2. 地域に開かれた学校づくりについて	<p><地域の防災拠点としてのあり方> 学校は、地域の防災拠点となります。災害が発生した際に、一時的に避難することができる場所となります。市内の16校の小学校および稲羽中学校、緑陽中学校が指定されています。各避難所の対象地域は、「小学校区」を基本としています。</p> <p>Q6-1 災害発生時、近隣の小中学校に避難しますか。 ①はい ②いいえ ③わからない ②いいえ③わからないと答えた方は、その理由を教えてください。(例) 家から遠い、環境が悪い、狭い等理由 ()</p> <p>Q6-2 防災拠点として、特に重要だと思う設備を選択してください。(上位3つ選択) ① 発電機等の電源設備 ② 飲料水を確保する設備 ③ 冷暖房設備 ④ Wifi等の通信設備 ⑤ バリアフリー設備の充実 ⑥ その他 () (※断水時に使用できるトイレ、防災備蓄倉庫は必須のため、選択肢からは除いています。)</p>	必要な防災機能の把握
	<p><地域特性> Q7 あなたの地域で学校施設を利用して行っている活動はありますか。また、活動を行っている団体名を教えてください。</p> <p>【活動内容】例) 夏まつり、盆踊り、ママさんバレーの練習など ()</p> <p>【団体名】 ()</p>	地域特性、地域活動の把握
3. 中間報告の意見聴取	<p>《任意回答》 ・QRコードで中間報告を見てもらい意見聴取(自由回答)</p> <p>※中間報告は市で概要版を作成中(9月上旬完成予定)</p>	中間報告の意見聴取(プレパブコメ)

以上